

I 石川県の経済動向（平成16年8月～10月）

～ 様々な事象や統計情報等を通じ、
3か月毎の県内の経済情勢を
調査・分析していきます。～

1 概況 —— 回復テンポ幾分緩やかになるも引き続き回復基調

【生産】

県内製造業の動向をみると、一般機械等では、旺盛な内外需を背景に増勢が続いているが、電子部品（携帯電話、デジタル家電）が生産調整に伴い減速しているほか、繊維も幾分弱含んでいることから、全体では、石川県の鉱工業指数の動きをみると幾分鈍化しています。

また、上半期（4～9月）の法人関係2税（法人事業税、法人県民税）の課税額は増収となっており、一般機械、電気機械を中心とした業績の回復が窺われ、下期もある程度の伸びが期待されます。

【消費】

百貨店・スーパー売上げは引続き前年を下回っているものの、デジタル家電、新型車投入効果等による乗用車販売が好調なほか、海外旅行も11月25日に就航した「小松 - 上海定期便」が順調な滑り出しを見せているなど好調なことから、全体として持ち直しの動きが続いています。

個人消費については、猛暑効果により8月までは好調であったものの、その後は全体的に不調となっています。

また、10月に開館した「金沢21世紀美術館」が盛況で、中心街の活性化が期待されています。

【雇用】

7～9月期の有効求人倍率は0.98と、4～6月期に比べ0.07ポイント上昇するなど、着実に改善しています。また、来年3月卒業予定者の就職内定状況も製造業を中心とした求人増から10月末現在で大学、短大、高専などで49.5%（前年同月比6.9ポイント増）と3年ぶりに上昇し、高等学校も69.0%（同4.6ポイント増）と2年連続で改善しています。

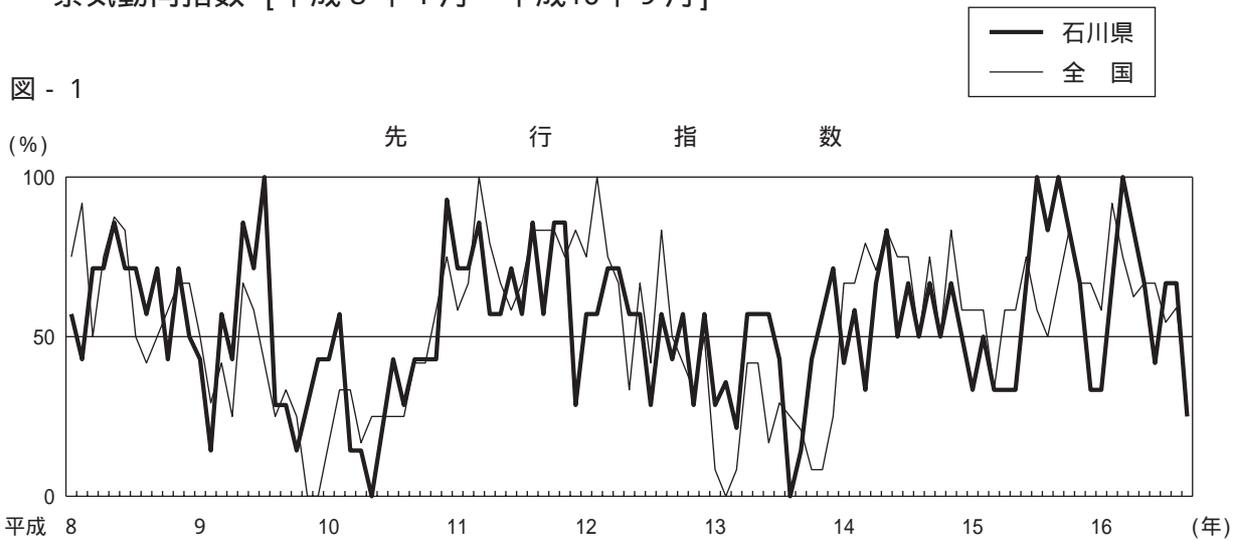
【その他】

8月～10月にかけて台風15、16、18、23号が県内を襲いました。これらによる農林水産業への被害額は合計で30億円を越えると思われています。

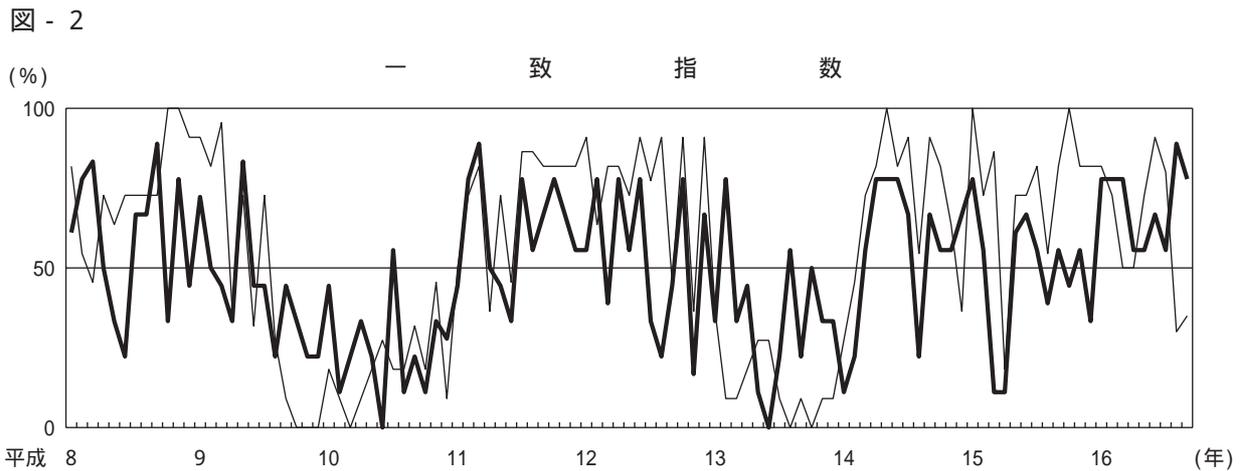
2 経済動向

2 産業別動向

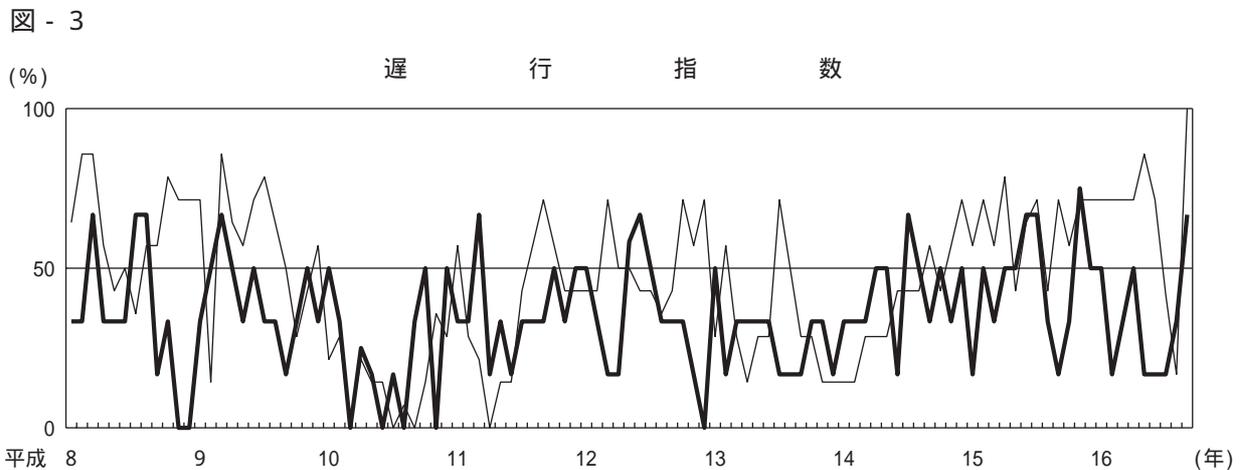
景気動向指数 [平成8年1月～平成16年9月]



・9月の先行指数は、新設住宅着工戸数等2指標の変化方向がマイナスになったことから、3か月ぶりに50%を下回った。



・9月の一致指数は、9指標中7指標の変化方向がプラスを示したことから、9か月連続して50%を上回った。



・9月の遅行指数は、雇用保険受給者数等2指標の変化方向がプラスになったことから、4月に50%となった後5か月ぶりに50%を上回った。

系列名		平成13年			平成14年						平成15年								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
先行系列	新設住宅着工戸数	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-
	所定外労働時間	-	-	-	0	0	-	+	+	+	+	+	-	+	+	+	-	-	-
	東証株価指数	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	+	+	-	+	-	+	+	-
	新車新規登録数	-	-	+	-	+	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+
	新規求人数	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	-	+	+	+	+	-	-	+
	銀行貸出残高	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	-	-	-	-	-	+	-
一致系列	有効求人倍率	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
	大口電力使用量	-	-	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	-
	鉱工業生産指数(総合)	0	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-
	鉱工業生産指数(機械)	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-
	鉱工業生産指数(繊維)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	百貨店販売額	-	+	+	-	-	+	+	+	+	-	-	+	+	-	-	+	-	+
	温泉旅館宿泊客数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+	-	-	-	-
	単位労働コスト	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-
	建築着工床面積	+	+	-	-	+	+	-	-	-	+	+	-	-	-	+	+	+	-
遅行系列	不渡手形発生率	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+	-	-	+	+	+	-	+	+
	雇用指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-
	賃金指数	+	+	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-	-	-
	貸出約定平均金利	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
	雇用保険受給者数	-	-	-	-	-	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	営業倉庫在庫高	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

系列名		平成15年			平成16年														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
先行系列	新設住宅着工戸数	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-
	所定外労働時間	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	-	0	-	+	0
	東証株価指数	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-
	新車新規登録数	-	-	-	+	-	+	+	-	-	-	+	+	-	-	-	+	+	+
	新規求人数	+	+	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-
	銀行貸出残高	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	-
一致系列	有効求人倍率	-	0	+	+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+
	大口電力使用量	-	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
	鉱工業生産指数(総合)	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	鉱工業生産指数(機械)	-	+	+	+	-	+	-	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
	鉱工業生産指数(繊維)	-	-	+	-	0	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	-
	百貨店販売額	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-	-	-	-	-	-	+	+
	温泉旅館宿泊客数	-	-	-	+	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+
	単位労働コスト	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	-	+	+	+	+	+
	建築着工床面積	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	-	+	+	-	+	-	+	+
遅行系列	不渡手形発生率	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	+	-	-	-	+	+
	雇用指数	-	-	-	-	-	-	-	0	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	賃金指数	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	+	+	-	-	-	+	+
	貸出約定平均金利	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用保険受給者数	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	-	+
	営業倉庫在庫高	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	+	-	-	+

(注) 季節変動による影響を取り除き、3か月前に比べて上がった場合は+、下がった場合は-、変動がなかった場合0で示してある。

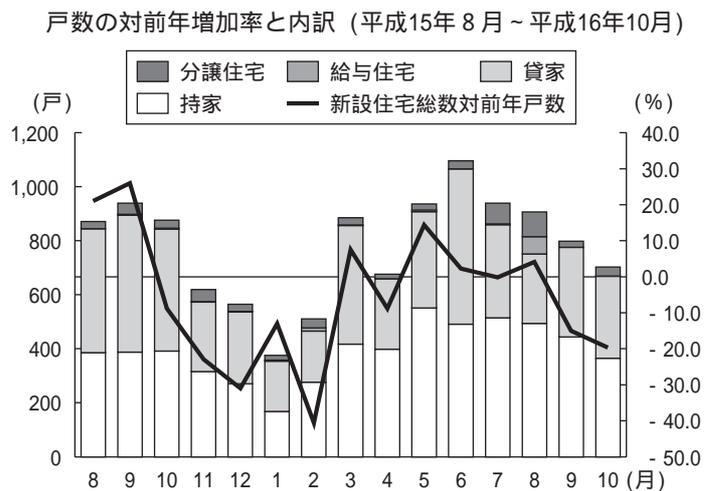
産業個別動態 [平成16年 8月～10月]

資料出所：日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報」他

織	維	衣料品：新素材・高付加価値製品の生産が堅調に推移。廉価品・定番品については安価な中国製品に押され気味。一部で原油高に伴う製造コスト上昇から生産を抑制し、弱含んできている。 非衣料品：自動車内装材を中心に増勢を維持。	
電	気	電子部品：一部で中国向け携帯電話部品やデジタル家電向け部品の生産調整に伴い減速。全体としては増勢テンポが鈍化。	
一	般	繊維機械：中国向けの受注の減少に生産の減少が続く。 建設機械・工作機械：内外の旺盛な需要を背景に生産が好調。全体としては増勢が持続。	
化	学	医薬品：OEM（相手先商標生産）が好調である。 その他：塩化ビニールや界面活性剤は国内需要の低迷等から弱含んでいる。全体としては緩やかに増勢。	
金	属	製品	一般機械向け部品や電気機械関連の設備投資需要の増加から、高水準の生産が続き増勢を維持。
建	設	住宅着工	持家が住宅ローン減税適用期限前の駆け込み着工から前年を上回った一方、貸家は前年の反動から減少したことから、全体では前年を幾分下回った。 (図1参照)
	公共工事	国、県の公共工事関連予算は引続き抑制的ながら、国の一時的な発注増などもあって前年を幾分上回った。 (図2参照)	

図1 新設住宅着工戸数の推移

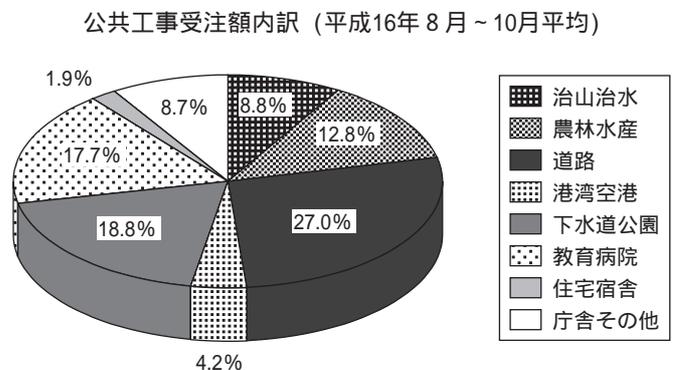
年 月	戸 数 (戸)	総床面積 (㎡)
平成15年 8月	871	79,119
9	939	86,224
10	876	81,277
11	619	60,085
12	565	53,469
平成16年 1月	376	33,815
2	511	52,997
3	885	97,015
4	676	75,475
5	936	102,988
6	1,096	92,122
7	939	101,252
8	907	95,518
9	798	83,757
10	703	70,939



資料出所：国土交通省

図2 公共工事受注額推移

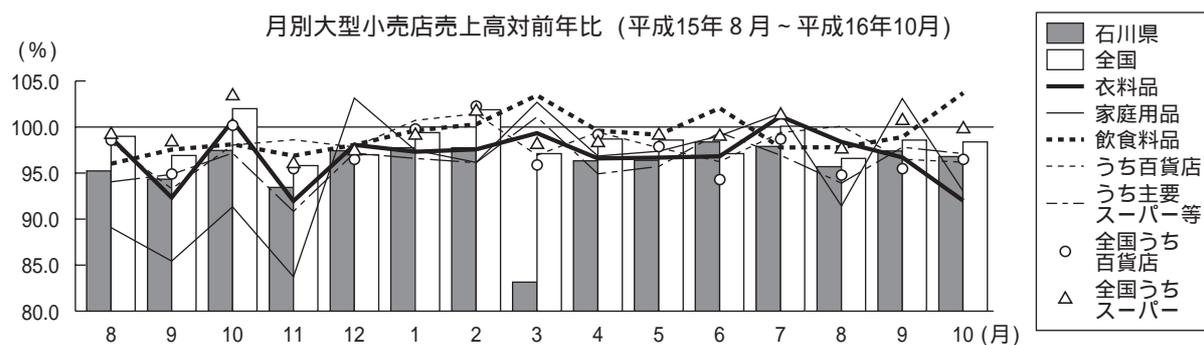
年 月	総工事費 (百万円)	前年同月比 (%)
平成15年 8月	15,886	12.3
9	22,398	10.7
10	23,765	31.1
11	13,707	21.0
12	15,498	18.9
平成16年 1月	6,530	51.5
2	6,054	48.2
3	18,288	7.0
4	20,910	16.8
5	8,965	49.8
6	25,396	52.2
7	19,964	23.2
8	23,388	47.2
9	28,658	27.9
10	17,434	26.6



資料出所：東日本建設業保証㈱

小 売	大型小売店売上高 (百貨店・スーパー)	猛暑効果により季節商品（飲料、水着等）の動きが好調であったものの、衣料品が全般的に不調であったため、前年を下回った。しかし、10月については、秋物衣料品や食料品に回復の動きが出ている。 (図3参照)
	自動車販売	新車登録台数は、普通車、軽自動車に加え、小型車においても新車投入効果がみられたことから、全体として前年を上回った。 (図4参照)
	家電販売	猛暑効果やアテネオリンピック効果もあって、エアコン、デジタル家電が好調に推移したものの、主力のパソコン販売の低調が続いていることから、全体として前年を下回って推移している。

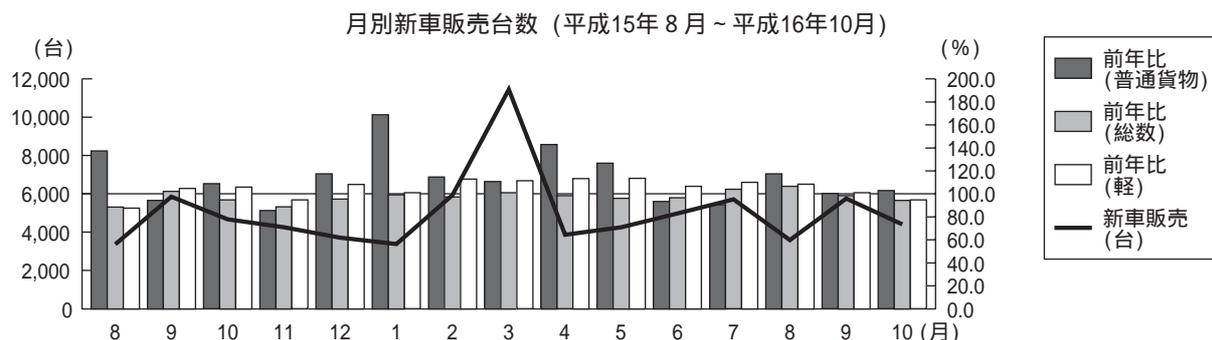
図3 月別大型小売店売上高推移



全国 (全体、うち百貨店、うちスーパー) 及び石川県全体以外は店舗調整前の数字にて作成

資料出所：経済産業省

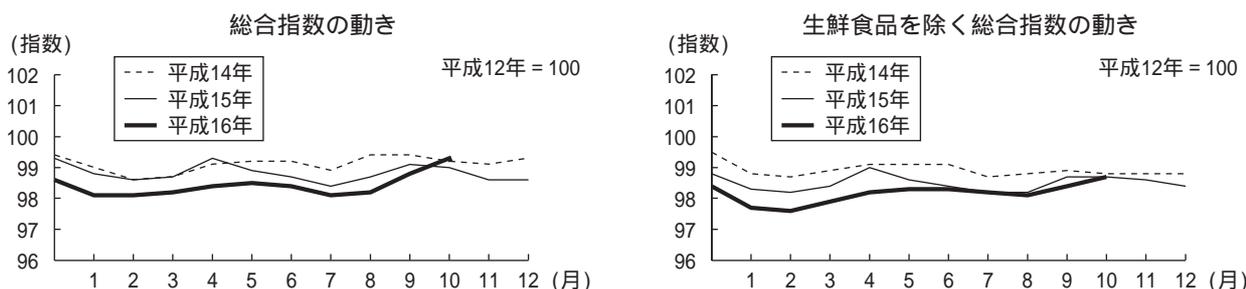
図4 月別新車販売台数推移



資料出所：石川県自動車販売店協会

消 費	消費者物価指数	10月分の県内4市（金沢、七尾、小松、輪島）平均の消費者物価指数は99.3で、前年同月に比べて0.3%上回り、平成15年5月以降18ヶ月ぶりに上昇した。これは、教養娯楽が0.3%下落したものの、被服及び履物が1.4%、食料が1.2%とそれぞれ上昇したことなどによる。 (図5参照)
	家計消費	10月の全国の勤労者世帯の家計消費支出は実質0.1%増になった（金沢市は18.8%減）。 (図6参照)

図5 消費者物価指数の推移

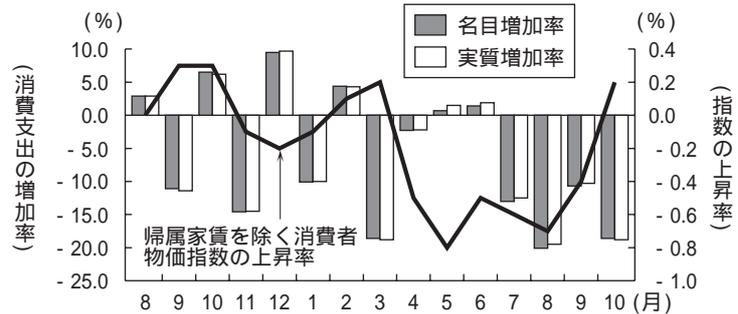


資料出所：石川県統計情報室

図6 消費支出と物価指数の推移

年 月	消費支出実数 (円) (金沢市勤労者世帯)
平成15年 8月	356,433
9	338,326
10	374,327
11	312,354
12	415,629
平成16年 1月	316,100
2	348,868
3	364,023
4	403,310
5	329,673
6	337,318
7	334,714
8	284,779
9	301,980
10	304,644

金沢市の勤労者家計消費の動き (平成15年8月～平成16年10月)



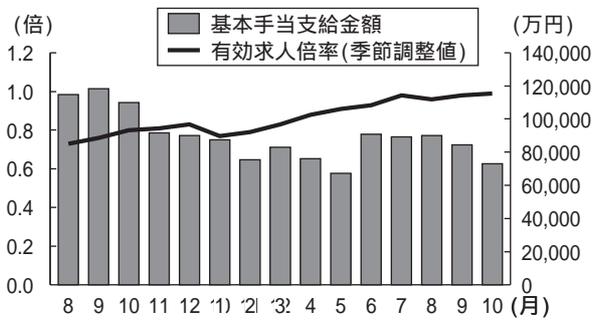
資料出所：総務省統計局他

雇用情勢	有効求人倍率	有効求人倍率(季節調整済)は0.98と4～6月(0.91)に比べ0.07ポイント上昇するなど、着実に改善している。(図7参照)
	雇用手当受給	受給者実数及び支給金額は8～10月全ての月で前年同月を下回った。(図7参照)
労働力	完全失業率	全国の7～9月の完全失業率は4.7%と、前年同月を0.4下回り、雇用情勢は回復気味だが、若年層の失業率は依然高い水準にある。また石川県内の7～9月の失業率は3.5%となり、全国値を下回るとともに4～6月期に比べ0.5改善した。(図8参照)
労働事情	賃 金	物価を反映させた実質賃金指数は平成16年1月から連続して前年同月を上回っており、景気の回復ぶりが窺える。(図9参照)
	労働時間	景気に敏感な製造業の所定外労働時間は平成15年7月以降連続して前年同月を上回っており、景気の回復が窺われる。(図9参照)

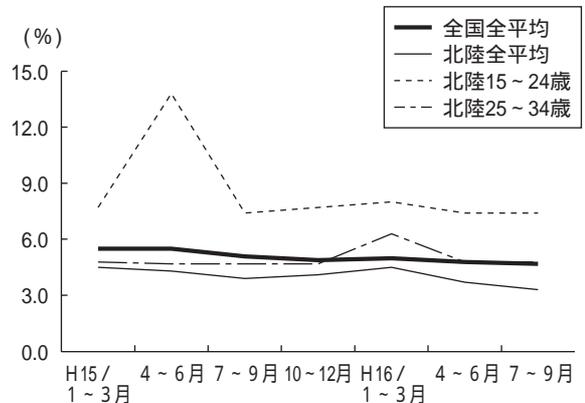
図7 有効求人倍率及び基本手当支給額の推移

図8 完全失業率推移

有効求人倍率と基本手当支給金額の推移
(平成15年8月～平成16年10月)



資料出所：石川労働局



資料出所：総務省統計局

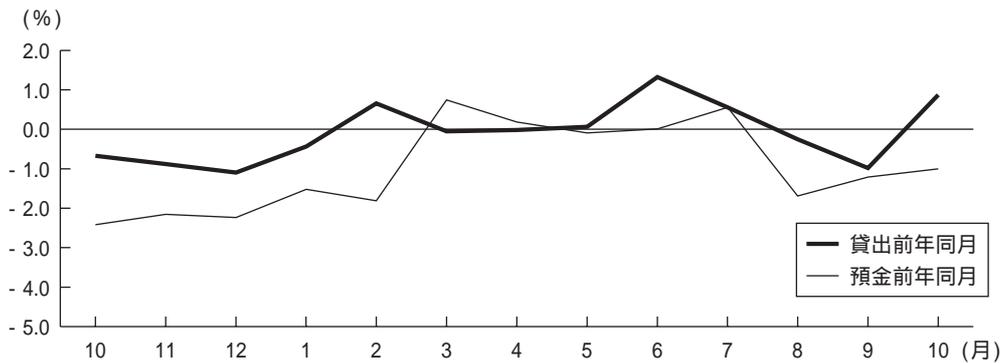
図9 賃金及び時間外労働時間の推移

年 月	実 質 賃金指数	前年同月 比 (%)	所定外労働時間 (事業所規模5人以上の製造業) (時)	前年同月 比 (%)
平成15年 8月	85.8	4.3	14.7	9.5
9	81.2	3.0	16.1	8.9
10	82.2	1.6	17.3	14.6
11	84.6	2.3	17.1	8.1
12	174.8	1.1	16.9	5.6
平成16年 1月	85.8	7.5	13.2	10.9
2	83.5	4.1	15.8	24.9
3	84.1	0.0	16.5	18.2
4	84.2	3.2	16.6	23.9
5	80.9	3.6	14.9	27.5
6	133.9	1.9	15.1	21.6
7	122.9	0.7	15.6	17.9
8	86.8	1.2	15.2	8.8
9	81.8	0.7	15.9	4.3
10	82.3	0.1	17.2	5.3

資料出所：
石川県統計情報室

観 光	観光入り込み客数	6～8月の温泉地宿泊客数は、夏休み期間の不調もあり、総じて低調に推移している。9月以降についても同様の基調が続いている。
	旅 行	旅行取扱高をみると、国内旅行は前年を下回っているが、海外旅行が韓国、上海向けを中心に好調に推移していることもあって、全体では前年を上回って推移している。また、11月25日就航の「小松・上海定期便」も好調に滑り出ししている。
金 融	預金・貸出金残高	9月の実質預金は、個人預金における他の預かり資金へのシフトや公金預金の減少もあり、低調に推移している。貸出金は、個人向けが住宅ローンを中心に高い伸びを続けたものの、法人向けが引続き前年割れとなったことから前年を下回った。 (図10参照)

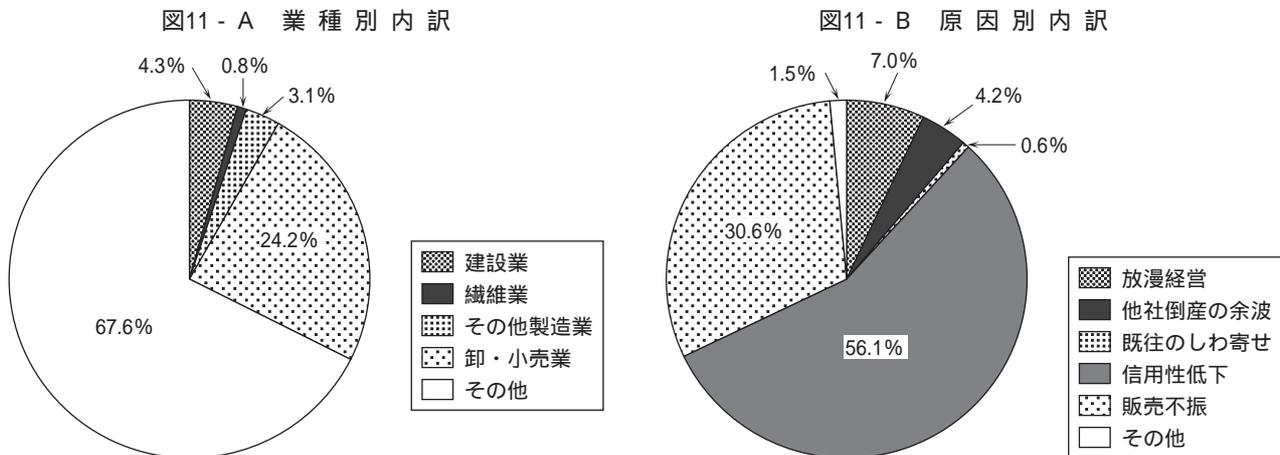
図10 貸出金・預金残高前年比推移 (平成15年10月～平成16年10月)



資料出所：北陸財務局

企 業 倒 産	8～10月の企業倒産件数（負債総額10百万円以上）は、33件と前年（38件）を幾分下回ったが、負債総額では幾分前年を上回った。 (図11参照)
---------	--

図11 県内企業倒産状況 (平成16年8月～10月平均)



資料出所：㈱東京商工リサーチ金沢支店